

※講座内容は同じです。ご都合のよい会場を選んでいただきお申込みください。

2025年3月4日(火) 2025年3月21日(金)
2025年4月7日(月) 2025年4月18日(金)

開催時間:13:00~15:00(ログイン開始:開始時間30分前~)

申込期限 銀行振込み:開催日6日前まで クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

■ 一般価格(1名様)

税込33,000円(税抜30,000円)

■ 会員価格(1名様)

税込26,400円(税抜24,000円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

■ 講座内容・担当講師について

第1講座

幼稚園・保育園・認定こども園が児童発達支援・放課後等デイサービスに参入する意義=Valueとは

発達障がい児やグレーゾーンのこどもが増える今、幼稚園・保育園・こども園が児童発達支援・放課後等デイサービスを始める意義について 解説いたします。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 米倉 百萌花



第2講座

特別ゲスト講座

埼玉県本庄市で認定こども園や学童保育、子育て支援事業を設置・運営する梅花福祉会 園長小林氏をお招きし、児童発達支援・放課後等デイサービスを立ち上げた経緯や、参入と運営の実例、そして 認定こども園との連携による相乗効果について 具体的にお話いただきます。

ゲスト講師 社会福祉法人梅花福祉会 園長 小林 崇氏



第3講座

児童発達支援・放課後等デイサービス 参入成功のポイント

児童発達支援・放課後等デイサービスの制度概要から、立ち上げまでの具体的な流れ、採用や利用者募集のポイントについて、また 立ち上げ後に幼稚園・保育園・認定こども園とのシナジーを生むポイントについて 解説いたします。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 福嶋 健太



第4講座

まとめ講座

本日の講座を踏まえて、皆さまにこれから取り組んでいただきたいこと、考えていただきたいことについて お話いたします。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙



- ☒ 既存園で対応しきれない発達障がい児や、グレーゾーンの子どもが増えてきた
- ☒ どんなこどもでも受け入れていきたいが、配置できる職員数もあり受け入れに限界がある
- ☒ 集団活動や午睡が苦手な児童がおり、他の児童も引っ張られてクラスにまとまらない
- ☒ 発達に凹凸のあるこどもたちにもっと関わりたい、自分たちでもっと支援をしたい

幼稚園 保育園 認定こども園 が取り組む 児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げ

社会福祉法人梅花福祉会が実現した事例4選

- 01 立ち上げ6年で在園児・卒園児 延べ44名利用!こどもに寄り添った「インクルーシブ保育」が実現できた
- 02 認定こども園のメソッドを活かした療育プログラムで法人職員全体の支援スキルが向上した
- 03 こども一人ひとりの個性・特性を尊重した支援で、クラスがよりまとまり、職員の負担軽減にもつながった
- 04 法人内のキャリアパスが多様化することで、優秀な職員の採用・定着がますます進んだ

ゲスト講師

社会福祉法人
梅花福祉会
園長 小林 崇氏



上記が実現できた理由を中面で詳しく解説いたします!

オンライン
セミナー
開催日時

2025年3/4(火)・21(金)・4/7(月)・18(金)
開催時間:13:00~15:00まで(ログイン開始:開始時間30分前~)

児童発達支援・放課後等デイサービス 新規参入セミナー

お問い合わせ No.
S122727

主催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [お問い合わせNo.] を入力してください)

122727



QRコードを読み込みお申込みください!

または船井総研ホームページ (www.funaisoken.co.jp) にある右上の検索窓に『122727』を入力、検索ください。

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/122727>

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索ご確認ください。

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

TEL: 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。



お問い合わせNo.S122727

お申込方法

お問い合わせ

お申し込みはこちらから
※ご入金確認後、マイページのご案内をもって、
セミナー受付とさせていただきます。

園の「気になる子」、増えてきていませんか？

- ・発達障がいのある子どもが、ひと昔前より増えたように思う
- ・本当はその子に合う支援を提供したいが、今の配置基準では対応に限界がある
- ・可能な限り その子に寄り添った支援を提供しているものの、職員の負担がそろそろ心配である
- ・近隣に児童発達支援に通う児童はいるが、送迎の負担やその支援内容を考えると本当は自分の園でやりたい

皆さまの園でもこのようなお悩みを抱えていらっしゃるいませんか？

これから紹介させていただきます 埼玉県本庄市で認定こども園や放課後児童クラブ、子育て支援センター等を設置・運営する「社会福祉法人 梅花福祉会」様もこれまで上記のようなお悩みを抱えていました。

すでに梅花福祉会様は15年以上インクルーシブ保育への挑戦を続け、達成した経験を幾度となくされておりました。こども園では、困難感を持つお子さんが、「みんなと一緒にが好き」「先生が大好き」「お友達が大好き」

という信頼関係の中、愛情と配慮のある関わりを援けにして、遅しく成長していました。

少子化がますます進み、社会福祉法人としての存在意義が問われ続ける中、地域への一層の貢献を行いたい、地域で頼みにされ続ける社会福祉法人になりたい、そんな決意もあり、令和元年に児童発達支援・放課後等デイサービスを立ち上げました。

本レポートでは、立ち上げの経緯や成功のポイント、そして今取り組んでいることや今後の展望について園長の小林 崇氏にお話をお聞きしました。

児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げで「子育てワンストップサービス」を実現

成功モデル法人のご紹介

社会福祉法人 梅花福祉会

社会福祉法人 梅花福祉会は、埼玉県本庄市にて認定こども園、放課後児童クラブ、子育て支援センター、産後ケア、児童発達支援・放課後等デイサービスを設置・運営しています。

「芯の強いこどもを育てる」「ナイチンゲールの看護の精神」の理念のもと、「子育てワンストップサービスの実現」を目指しています。

令和元年に児童発達支援・放課後等デイサービス「うめっこスポーツ」を立ち上げて以来、延べ130名以上への支援を提供してきており、うち44名（契約者全体の約2割）が梅花福祉会の運営するコウガの森・梅花と共和の在園児及び卒園児です。





社会福祉法人 梅花福祉会 園長 小林崇 氏

埼玉県本庄市にて 幼保連携型認定こども園、学童クラブ、児童発達支援・放課後等デイサービス等明るくすこやかな保育・教育の場を50年以上提供し続けてきた社会福祉法人の園長。
「芯の強い子どもを育てる」「ナイチンゲールの看護の姿勢に学び健やかな子どもを育てる」を法人理念に掲げ、大切な子どもたちの成長を第一に考えた「本物の保育」、そして 働く全ての職員が長く活躍し続けられる組織づくりに力を入れており、保護者の満足度・職員の満足度ともに高く、行政からの信頼も厚い。

法人の将来に対する漠然とした不安感と試行錯誤の日々

当法人は50年以上の歴史がある社会福祉法人ですが、平成24年までは現在の幼保連携型認定こども園 コウガの森・梅花のみの設置・運営でした。私は大学生の頃、「1法人1施設のままだら、法人は継ぎたくない」と当時理事長だった母に話していました。今思うとだいたい生意気な発言だなと思う部分もあるのですが(笑)大学で地域福祉を学んでいたこともあり、この少子化の時代、1法人1施設では経営の存続は難しいだろうという危機感・不安感はずっとありました。

ちょうどそのころ市内の保育園の民営化案件が公募され、無事落札し、今の幼保連携型認定こども園 コウガの森・共和の運営を開始しました。私も大学卒業後入職し、法人を将来継いで行きたいという想いを固めつつも、**漠然とした不安感**は以前としてありましたが、当初は今のようない「子育てワンストップサービス」といったコンセプトは特別ありませんでした。保育園を幼保連携型の認定こども園に移行したり、平成10年頃から中止していた**子育て支援事業**を再開したり、色々試行錯誤し続ける日々でした。

地域で頼みにされ続ける社会福祉法人になりたい

私は**少子化の影響で梅花福祉会の役割が縮小**していくことをずっと心配していました。地域で頼みにされ続ける社会福祉法人になりたい、**既存事業と相乗効果のある地域福祉事業**をしたい、でも何をすればいいかわからない…そんな折、**理事長と参加した船井総研のセミナーで 児童発達支援・放課後等デイサービス**を知りました。

もともと15年以上、園では独自にインクルーシブ保育を実施していましたが、近年 支援の必要な子どもたちが増えており、**より手厚い、こどもに寄り添った支援**を行いたいと考えていた頃でした。一方で、支援の必要な子どもたちが増える中で、**職員の負担も課題**となっていました。セミナーで紹介されていた法人さんの見学にも行かせていただき、自分たちの中で「これだ!」と思い立ち上げを決意しました。

運動×学習特化 うめっこスポーツの立ち上げ

本庄市内にある児童発達支援・放課後等デイサービスは、預かりメインの**保護者の負担軽減**を目的にした事業所が多い印象でした。もちろんそういった事業所も素晴らしいのですが、私たちは幼児教育の専門家として、15年以上インクルーシブ保育を提供し続けてきたプロとして、こどもたちのためになる**高付加価値の療育プログラム**を提供したいと思いました。そうして立ち上がったのが「うめっこスポーツ」です。

「うめっこ スポーツ」は、船井総研の紹介で**見学させていただいた事業所様からプログラムの提供**を受けました。今でも職員の研修等で大変お世話になっており、定期的に職員や保護者向けにも講演をいただいております。テンポよく切り替えるプログラムで集中力の持続と切り替えに適応する力をつけ、小学校での学習に必要なスキルが習得できる内容です。

SAQ

スピードアジリティ・クイックネス

うめっこスポーツの最も特徴的なトレーニングです。全身を大きく使う運動や、動きを組み合わせた運動を取り入れて、汗が出るくらい体を動かすことで、ドーパミンを出すことをねらいとしています。「運動が楽しい!」「ほめられてうれしい」と、お子さんのやる気を引き出しながら進めます。

なぞり絵

SAQで「動」の活動の後は、「静」の活動を行います。なぞり絵では、姿勢の保持をしながら線をなぞっていき、気持ちを落ち着かせながら取り組んでいくことを目的としています。気持ちのコントロールを行って、集中して取り組む姿が見られます。

カルタ(百人一首)

札を見つめるために、沢山目を使い、目当ての札を探していくところから始まります。「お友達に勝りたい!」という気持ちが芽生え、少しづつ上の句を受えていき、枚数を増やしていくことで、記憶力を鍛えます。

楽しい!できた!を経験する

SAQ

なぞり絵

目のトレーニング

視写

音読

聞き取り

カルタ(百人一首)

漢字

園の音楽教育や和太鼓活動を活かしたうめっこリズムの立ち上げ

このように立ち上がったうめっこスポーツですが、想像をはるかに上回る反響があり、**開校半年で黒字化**しました。日々、問い合わせに対応する中でもっと多くのこどもたちに、より質の高い支援を提供できないかと考え、次は「**音楽療育**」をコンセプトにした児童発達支援・放課後等デイサービスの検討を開始しました。

これまた船井総研さんの紹介で、音楽療育をコンセプトにした児童発達支援・放課後等デイサービスを見学させていただいたのですが、「うめっこスポーツ」での療育活動を通して法人のノウハウがたまりつつあったこと、また**元々音楽教育や和太鼓活動は園でも特色**としていたことから、認定こども園での音楽教育との整合性も考え、自分たちでオリジナルの療育プログラムを作りました。

ウォーミングアップ

1番初めの活動です。ピアノのリズムに合わせて、走ったり、スキップしたり、10分間休まずに体を動かします。大きく身体を動かすことでドーパミンをしっかり出すようにします。音を聞き分ける力が身に着いたり、気持ちの切り替えができるようになることが期待できます。

リズム打ち

器楽合奏

強弱をつけたり、ゆっくり、速くなど、様々な演奏方法を習得することで、力をコントロールする力が身に着きます。リズムを覚えて演奏するため、記憶力が向上します。

歌唱

歌詞の意味を理解して、情景を思い浮かべながら歌うことで表現力が身に付きます。歌唱は指揮者、伴奏者、歌い手の気持ちがそろって成立します。リズムや音程を合わせようと意識することで、人に合わせることができるようになります。

音楽を通じ心と身体を育む

ウォーミングアップ

リズム打ち

器楽合奏

歌唱

読み聞かせ

児発・放デイの立ち上げが 教育内容の見直しのきっかけにも



オリジナル療育プログラム作りは決して簡単ではありませんでしたが、**職員たちと改めて各活動の目的や内容を見直したことが認定こども園の教育・保育の見直しのきっかけにもなりました。**

うめっこスポーツでは「運動×学習療育」の脳内の神経伝達物質であるドーパミンとセロトニンを交互に出す、テンポよく切り替えるプログラムで集中力の持続と切り替えに適應できる力を身に付ける、というプログラムを行っていました。これは、認定こども園で大切にしてきた「**動**」の活動（テンポアップの運動）と「**静**」の活動（集中して取り組む学習）の組み合わせと同じである、ということに気づいたのです。

保育・教育・療育それぞれに対し**法人の考えの共通項**が見え、施設を超えた**法人内の連帯感**もますます高まっていきました。

「うめっこ」とクラス担任の 連携を強化

施設を超えた法人内の連帯感が高まる中で、「うめっこ」と**クラス担任の連携**もますます強まっています。延べ契約者数136名中31名（契約者全体の約2割）がコウガの森・梅花や共和の在園児及び卒園児ですが、特に在園児の様子については**園のクラス担任と児童発達管理責任者が密に共有しています。**

もちろん法人外の園や学校を利用している児童についても積極的な情報共有や連携は図っていますが、やはり「同僚同士」なので困ったこと、気になったことがあれば**すぐに連携が取れるというのは法人内ならではの強みだ**と感じています。

また、発達に関する悩みは非常にデリケートで、在園児でも「うめっこ」を利用できるときとまったく成長できるだろうな、と感じるお子さんが**まだまだ利用に繋がっていないケース**というのは多々あります。そういった時には日常的にお子さんに関わっている園長・担任、そして療育の専門家である児童発達管理責任者・指導が連携し、その家庭やお子さんにあった方法で**説得を試みた結果、利用に繋げることができたケース**もありました。

児発・放デイの立ち上げで 職員採用にも変化が

児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げをきっかけに法人の**採用にも変化**が現れ始めました。障がい児支援や少人数制の療育、事業の多角化をしていることで色々なことに挑戦ができそうな環境に興味を持つ職員からの**問合せが増え、資格や経歴も多様化**していきました。

当法人では平成30年から船井総研さんの採用コンサルも受けているのですが、当初採用コンセプトは「やりがいのある保育と一緒にしませんか」でした。もちろん悪くはないと思うのですが、今思うと**少しぼんやりしているように**思います。しかし、その後事業展開を経て、梅花福祉会としての事業ビジョンが明確になる中で「**認定こども園・学童・発達支援・地域密着 やりたいことを選べる働き方**」を採用コンセプトとして打ち出すようになり、ますます出会う人の**年齢や経験、職種が多様**になり、幅が広がっていきました。事業の発展と採用の好調が相互に作用していると思います。

Ⅱ 職員採用について（うめっこきっかけの問合せと採用）

2019年	問合せ	30名	保育士7名 精神保健福祉士1名 教員11名 看護師3名 児発専2名 介護福祉士1名 理学療法士1名 資格なし4名
	採用	5名	うめっこ配属2名 認定こども園2名 学童配属1名
2020年	問合せ	10名	保育士4名 教員2名 作業療法士1名 資格なし3名
	採用	2名	うめっこ配属1名 学童配属1名
2021年	問合せ	4名	保育士2名 教員2名
	採用	なし	
2022年	問合せ	15名	保育士4名 教員7名 作業療法士1名 言語聴覚士1名 理学療法士1名
	採用	2名	うめっこ1名 認定こども園1名

施設間交流及び異動を積極的に行い、 施設間の連携を強固に

「うめっこ」をきっかけに採用の問合せ数も増え、出会える人材の幅も広がりましたが、梅花福祉会としては**事業の根幹は「認定こども園」にある**と思っています。認定こども園が中心にあって、そこから児童発達支援・放課後等デイサービスや学童、子育て支援等多種多様な支援に繋がっているイメージなので、「うめっこ」**希望であってもできるだけ最初は認定こども園で働いてもらい、梅花福祉会で大切にしていることや考え方を理解してもらうように**しています。

また法人では年に1回異動辞令を出しているのですが、その際**積極的に認定こども園と児童発達支援・放課後等デイサービスの職員の入れ替えを行っています。**「うめっこ」の療育は認定こども園での保育・教育がベースとなっているので、異動に対する抵抗はあまり感じていません。むしろ、「うめっこ」であれば小学生まで支援することができるので、**卒園児として見送った児童に再度関わるきっかけ**にもなったり、職員にとっても大きなやりがいに繋がっているように思います。

「〇〇園の職員」ではなく、「梅花福祉会の職員」という**帰属意識**を持つことで、**施設間の連携**はより強固になると感じていますし、法人内の相乗効果がますます生まれやすくなっていると感じています。



事業展開の肝となる職員育成にこそ力を入れていきたい

法人として取り組みたいことは多々ありますが、事業展開を進めていく中で肝であり、課題でもあるのが「**職員育成**」だと思い、今現在 船井総研さんに「**管理職育成コンサルティング**」をお願いしています。

法人としてこれまで**新卒採用・中途採用及び園内研修**には力を入れてきたので、とても素直で、頑張り屋で、一生懸命な先生が多く、法人としてもとても誇らしいです。そんな先生たちのこれからのキャリアを作っていくためにも職員の育成は法人としての責務だとも考えています。

道半ばではありますが、**職員を主体とした新卒採用**やInstagram等々の情報発信、また業務改善等 色々なことにチャレンジしてもらっています。保育のプロとして専門性を身に付け、それを誇りに思い、評価される人材になってほしいですし、**それぞれの職員の「長所」を活かせる環境**を法人としては提供し続けていきたいと考えています。



今後の展望について

ここ数年で梅花福祉会が**地域で果たす役割は大きくなってきた**と感じつつも、「子育てワンストップサービスの実現」としてはまだまだ道半ばだと思っていますので、引き続き色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

その一つが今年4月から開始した「**産後ケア事業**」です。もともと子育て支援センターで未就園児とその保護者に対する支援は行っていましたが、もっと産後のお母さんとこどもに寄り添った支援を提供したいと考え、**今年4月に市の委託事業**として開始しました。

船井総研さんの研究会での講演をきっかけに事業に興味を持ち、昨年（2023年）12月に市に相談してなんと**半年足らずでスピード開所**に繋がったわけなのですが、これも認定こども園や児童発達支援・放課後等デイサービスを通して行政との連携を強固にしてきたからこそ、法人としての想いや意図が伝わり、市と連携して進めることができたのかなと感じています。

また 支援が必要なお子さんを適切な支援に繋げる**相談支援事業**や、今国でも関心の高まっている**こども誰でも通園制度**等 興味のある事業はたくさんあります。これまでも地域の声に耳を傾けながら、地域福祉の充実につとめてまいりました。これからも地域ニーズを的確にとらえ、展開していきたいです。



幼稚園・保育園・認定こども園が 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に 参入するValue＝価値とは

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャー 児玉 梨沙

東京大学教育学部卒業後、株式会社船井総合研究所へ入社。子ども・子育て支援事業全般へのコンサルティングを担当しており、保育園や児童発達支援・放課後等デイサービス、親子カフェ×就労継続支援の立ち上げの他、職員の採用・定着、利用者募集、ブランディング等 幅広いテーマに携わる。市区町村の子ども・子育て支援事業計画の策定等 官公庁業務にも従事。



皆さま、こんにちは！

本レポートをここまでお読み頂き、誠にありがとうございました。

私、株式会社船井総合研究所 子育て支援部 マネージャーの児玉 梨沙と申します。

現在 携わっている**幼稚園・保育園・認定こども園は500施設以上、児童発達支援・放課後等デイサービスは30施設以上**で、その他 市区町村の「子ども・子育て支援事業計画」の策定支援等も担当させて頂いております。今回 インタビューさせて頂いた学校法人勝愛学園の児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げもご支援させていただきました。

今、発達障がい児やグレーゾーンのこども（気になる子）が増えてきており、その支援について悩まれている事業者様がとても多いように思います。よくお聞きするお悩みは次の通りです。

- ・発達障がい児や、グレーゾーンのこども（気になる子）が増えてきた
- ・どんなこどもも受け入れていきたいが、配置できる職員数の都合上 受け入れに限界がある
- ・集団活動や午睡が苦手な児童がおり、他の児童も引っ張られてクラスがまとまらない
- ・近隣に児童発達支援や放課後等デイサービスは増えたが、本当は自分たちで支援をしたい

これらの悩みを今の幼稚園・保育園・認定こども園だけで解決しようと思っても、人手や資金の都合もあり、なかなか難しいことが多いです。そこでご提案させて頂きたいのが、学校法人勝愛学園も立ち上げられた「児童発達支援・放課後等デイサービス」への参入です。

児童発達支援・放課後等デイサービスとは？

児童発達支援は主に**未就学児**、放課後等デイサービスは**小学生～高校生（18歳未満）**を対象にした集団及び個別療育を行う**障がい福祉サービス**の一つです。

<船井総合研究所が推奨する 児童発達支援・放課後等デイサービス事業モデル>

	児童発達支援	放課後等デイサービス
対象	未就学児（0歳児～5歳児）	小学生～高校生
定員	計 10名	
開所時間	10:00～17:00 （サービス提供時間は6時間以上）	学校がある日：放課後～18:00 学校がない日：10:00～17:00
開所曜日	月曜～土曜 （地域ニーズや利用ニーズによる、週5日開所や週7日開所の場合も）	
必要人員	最低 3名	
必要面積	60㎡以上（建物や地域による）	
年間売上	3,600万円	
年間営業利益	900万円	

増える発達障がい児と、障がい福祉サービスの利用者

文部科学省の調査によると 普通学級に通うこどもの10人に1人以上が「学習面や行動面」で困難を抱えているとされており、軽度発達障がい児だけでも 人口に対する発生頻度は 8.2～9.3%とされています。



黒板が書き写せない

忘れ物が多い

数が数えられない

文字が読めない

授業中歩き回る

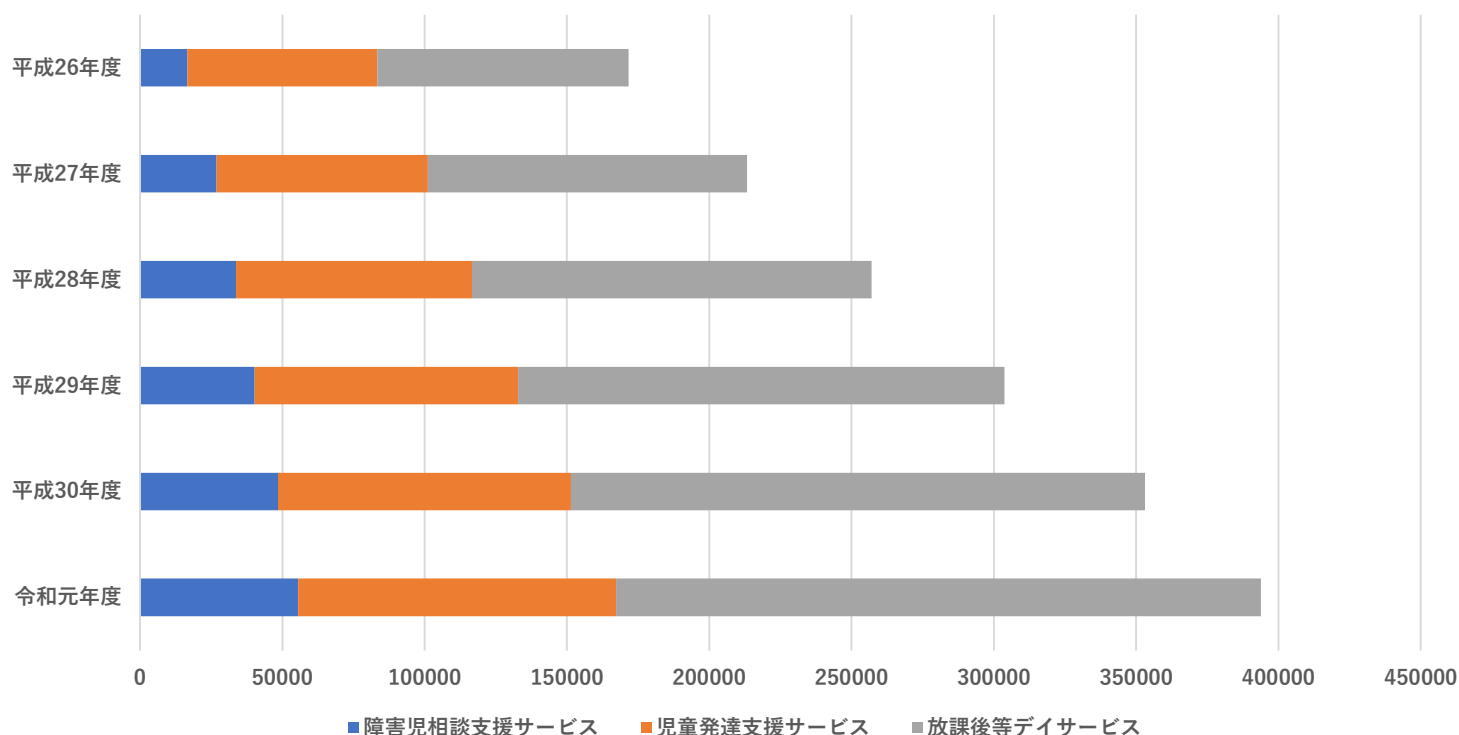
机をがたがたする

指示を理解できない

一人でいることが多い

発達障がいの認知度や理解も徐々に広まり、障がい児サービスの利用者も増加傾向ですが、一方で 令和元年度でも 全児童に対して 1.7%しか利用しておりません。発生頻度等を踏まえると **まだまだ適切なサービスを受けることができずに困っている保護者やこどもが多くいる**ことが予想されます。

障がい児サービスの利用児童数（人）



厚生労働省「障がい児通所支援の現状等について」 <https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000801033.pdf>

発達障がいは、発達の仕方に生まれつき凸凹がある障がいです。
一人ひとりの特性に応じた理解や支援により、その凸凹は その子ならではの個性となります。

一方で、正しい理解や支援がないままだと困難感を抱えたまま成長し、例えば知的に遅れがあるわけでもなくとも勉強についていくことができなくなったり、何度も叱られることで自己肯定感が下がってしまったり、相手の感情が理解できないことでいじめる側になったり、逆にいじめられる側になったりと、二次障がい（うつ、不安障がい、引きこもり等）に繋がりがねません。

そういった点でも早期の支援は非常に重要であり、発達障がいの傾向が出やすいと言われる3歳児前後に日常的に関わっている幼稚園・保育園・認定こども園の皆さまの役割というのは非常に大きいと言えます。

幼稚園・保育園・認定こども園が 児童発達支援・放課後等デイサービスを始める意義

幼稚園・保育園・認定こども園を設置・運営する皆さまが、児童発達支援・放課後等デイサービスを開始する意義について次のように考えております。勝愛学園の大澤氏もおっしゃっておられましたが、こどもにとっても、保護者にとっても、職員にとってもまさに「三方良し」の事業です。



実質的に1：1の個別支援が可能

児童発達支援・放課後等デイサービスの定員は10名で、例えば1日のうち療育時間を分けて、1コマあたりの利用者は1～3名等とすることも可能です。職員は児童発達管理責任者を含めて最低3名、加算を取得する場合は追加で2名ほど配置することが可能ですので、実質的に1：1の個別支援を実現することができます。

園と連携したスケジュールが組める

午前の集団活動の時間や、午睡の時間（発達障がいのお子さんは午睡が苦手だったり、給食後興奮状態になったりすることも多い）に児童発達支援で療育を行い、昼食や午睡、自由遊びはクラスのお友達と過ごすことでお友達との時間も大切にしながら、その子に合った追加支援を提供することも可能です。



職員の業務負担軽減に繋がる

その子に合った支援を提供したいと思っても、3歳児クラス 20:1、4・5歳児クラス 30:1の配置基準では現実的に難しいことが多いです。児童発達支援で療育を受けることでその時間その子に合った支援を提供できるだけでなく、クラス運営の負担も軽減される他、療育の効果が出てくることで集団の中でも落ち着いて過ごしやすくなっていきます。

園の特色を活かしたプログラムを提供できる

貴園の保育・教育理念や方針に則った保育・教育プログラムを、児童発達支援ガイドラインに則って再設計することで、園の特徴・特色を活かした保育・教育プログラムを提供できます（弊社から紹介させて頂く外部プログラムを導入いただくことも可能です）。



共働きのご家庭でも利用しやすい

園内や園の近くで実施する場合は車で送迎は不要ですし、少し離れた場所に事業所がある場合も事業所による送迎（普通自動車等を用いることが多いです）ができれば、保護者は生活リズムをそのままにこどもに必要な支援を受けさせることができます。仕事の都合でこどもに療育を受けさせられない、又はこどもの療育の都合で仕事を制限せざるを得ない、そういった課題を解決することが可能です。

キャリアの多様化で採用や定着にも効果大

児童発達支援・放課後等デイサービスの管理者や児童発達管理責任者、指導員等の新たなキャリアステップを提供することが可能です。またこれまでの採用活動では出会えなかった人材と出会い、法人が活性化する効果も期待できます（また近年「こども主体」の保育が注目される中、一人ひとりに合った支援の提供は、視座の高い職員からも注目されやすくなります）。



卒園後も支援を継続できる

発達障がい児やグレーゾーンのこどもは、小学校以降で困難感が強まる傾向にあると言われていますが、本園を卒園した後も放課後等デイサービスを通して支援を提供し続けることができます。またその療育効果を確認することで、幼児期にどのような取り組みが有効なのかを振り返ることもでき、園の保育・教育の質向上も期待できます。



小林氏をゲスト講師としてお招きし、 **オンライン**で セミナーを開催します

▼セミナーでお話させていただくことの一部をご紹介します▼

特別ゲスト講座より

立ち上げ前の
課題や悩み

立ち上げの経緯

提供している療育内容

デイリースケジュール

療育の効果

保護者からの反響

児発管や児童指導員の
採用・配置

利用者募集

船井総合研究所講座より

業界時流と
今後の展望

必ず確認すべき
児発放デイ行政ルール

児発放デイ立ち上げの
実施事項

児発放デイ立ち上げの
スケジュール

独自の療育プログラム

保護者から人気の高い
療育プログラム

必要な職員と資格

採用活動を始める前の
事前調査

必要な施設基準

レイアウトイメージ

保険収入の仕組みと
収支の考え方

加算と取得方法

定員設定の考え方

過去 児童発達支援・放課後等デイサービス 立ち上げセミナーに参加された方の 声

事例を含め、大変分かりやすく理解することができました。
ありがとうございます。

児童発達支援事業所の概要等の説明が分かりやすかった。また、保
育園との併設でシナジー効果があると感じました。

実際の療育の様子を見ることができ、大変参考になりました。また、
多角化することで保育事業の採用にも良い影響がある、ということ
も興味深く聞かせて頂きました。参入に向けて、前向きに検討した
と考えています。

近年、当法人でも配慮が必要な子、集団生活に戸惑いを感じている
子が多くなってきています。他法人の児童発達支援施設と連携を取り
ながら支援を進めていますが、連携が難しいところも感じていま
す。当法人が児童発達支援、放課後等デイサービス機能を持つこと
により、子どもたちや多くの保護者に対して、より適切な支援を提
供できるのではないかとの思いから今回のセミナーを受講しました。
セミナーにて新規参入、運営することの意義、流れの理解へとつな
がり、今後の運営について考えをまとめる機会となりました。

昨年の4月から指定を受けて事業を始めています。話の内容が具体
的でわかりやすかったです。ゲストのお話も当社と重なる部分があ
り 参考になりました。

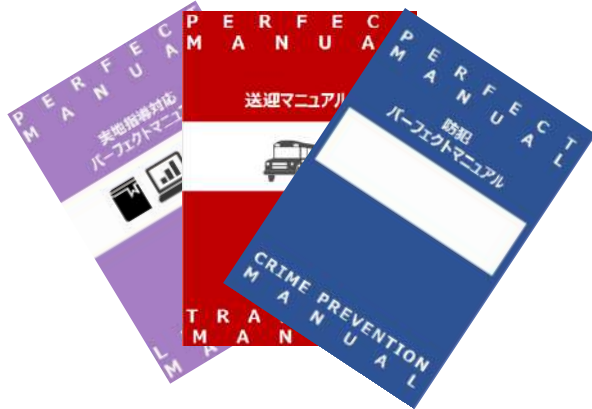
申請や集客、採用に使っているツール類を大公開

指定申請に必要な書類のイメージ。複数の申請書と表が並んでいる。

指定申請に必要な書類

契約に必要な書類のイメージ。契約書と表が並んでいる。

契約に必要な書類



初めての障がい福祉サービスも安心！
障がい福祉サービス重要語彙集

運営の手引書のイメージ。1. 役割別月次業務、2. 物件選定のステップなどが示されている。

運営の流れがわかる！運営手引書



自事業所に合う人材を採用する
お仕事説明会マニュアル



自事業所に合う人材を集める
お仕事説明会チラシ



SNS経由での採用活動に使う
動画広告



特色を簡潔にわかりやすく
まとめた三つ折りパンフレット



自事業所の特色がわかりやすい
パンフレット



説明会時に使用する 保護者向けの
プレゼン資料

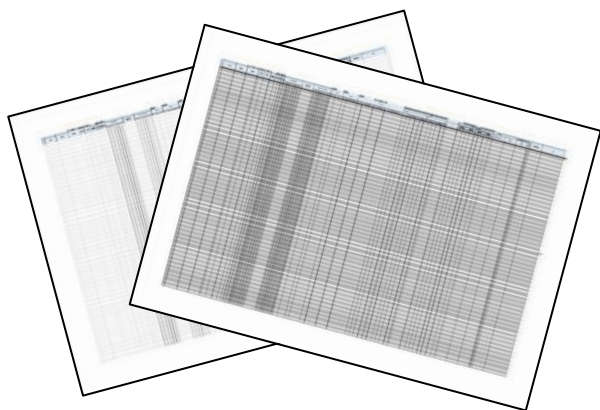
申請や集客、採用に使っているツール類を大公開



訪問先管理や会話内容までカバー
広報活動 管理シート



設備整理の不安を解消
開所時 設備チェックシート



来ていただいた方を大事に
問い合わせ管理シート



初めてのことも安心！
各種業務マニュアル



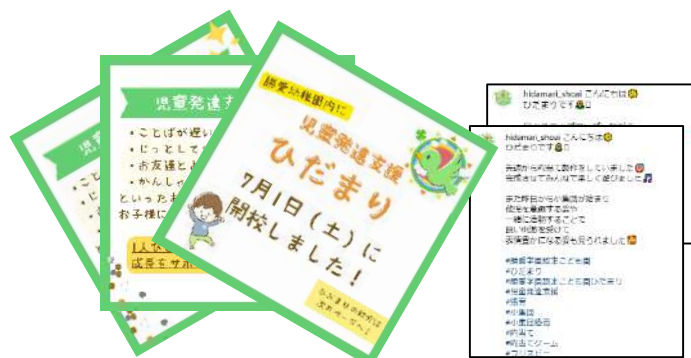
興味を持っていただいた方との連絡ツール
公式LINE



知ってもらう・来てもらう
イベントチラシ



事業所のことを知っていただく
ホームページ



事業所のことを知ってもらう
Instagram 投稿案